

「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」及び「みえ元気プラン（仮称）」
最終案に関する意見シート

議員名 山本里香

意見提出先	<input type="checkbox"/> 総務地域連携デジタル社会推進常任委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 戦略企画雇用経済常任委員会 <input type="checkbox"/> 環境生活農林水産常任委員会 <input type="checkbox"/> 医療保健子ども福祉病院常任委員会 <input type="checkbox"/> 防災県土整備常任委員会 <input type="checkbox"/> 教育警察常任委員会
該当部局名	雇用経済
施策番号	ビジョン p. 6 環境問題の深刻化、エネルギー・資源事情の変化
意見	<p>「■太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの導入が進む一方で、適地の減少や廃棄処理等への対応が急務となっている」</p> <p>「環境破壊や災害の危険」の認識はないのか。</p>
理由	<p>林地開発で土砂を積み上げ、無軌道な太陽光施設の設置が見受けられる。至るまでの工事の段階での土砂流出災害の発生している。風光明媚を売りものにする観光産業にも悪影響となる。（農林・県土・環境にもかかわる）</p> <p>元気プラン p. 6に 「■再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、陸上風力発電・太陽光発電等の設置の適地が少なくなり、海洋環境の利用など新たな再生可能エネルギーの導入が急がれる中、自然豊かな地域や集落に近い場所で開発が進むことにより、自然環境や生活環境への影響が懸念されます。」とあるがビジョンにはない。</p>

「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」及び「みえ元気プラン（仮称）」
最終案に関する意見シート

議員名 山本里香

意見提出先	<input type="checkbox"/> 総務地域連携デジタル社会推進常任委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 戦略企画雇用経済常任委員会 <input type="checkbox"/> 環境生活農林水産常任委員会 <input type="checkbox"/> 医療保健子ども福祉病院常任委員会 <input type="checkbox"/> 防災県土整備常任委員会 <input type="checkbox"/> 教育警察常任委員会
該当部局名	雇用経済
施策番号	施策 7-3 企業誘致の推進と県内再投資の促進
意見	<p>KPI 操業環境の改善に向けた取組件数（累計）</p> <p>「規制の合理化など企業のニーズに応じた操業環境の改善」とは「規制緩和」を進めるということであれば、規制がなぜできているかの原点に立ち返り慎重にすべき。</p>
理由	立地協定には環境保全や、地域理解などは必須条件。

「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」及び「みえ元気プラン（仮称）」
最終案に関する意見シート

議員名 山本里香

意見提出先	<input type="checkbox"/> 総務地域連携デジタル社会推進常任委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 戦略企画雇用経済常任委員会 <input type="checkbox"/> 環境生活農林水産常任委員会 <input type="checkbox"/> 医療保健子ども福祉病院常任委員会 <input type="checkbox"/> 防災県土整備常任委員会 <input type="checkbox"/> 教育警察常任委員会
該当部局名	雇用経済
施策番号	施策8-1 若者の就労支援・県内定着促進
意見	<p>「県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合」だけでなく、就職した者が定着したかどうかを知ることが大切で「早期離職率」を知り対策することも必要。</p>
理由	<p>就労については、定着せず短期離職の多さも課題であり、就労現場に問題がある場合も多い。就労継続することにより、本人にスキルや経験が蓄積され、ひいては会社にとっても有用である。早期離職の実態を確認して就労環境の改善につながるような取り組みが必要。</p>

「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」及び「みえ元気プラン（仮称）」
最終案に関する意見シート

議員名 山本里香

意見提出先	<input type="checkbox"/> 総務地域連携デジタル社会推進常任委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 戦略企画雇用経済常任委員会 <input type="checkbox"/> 環境生活農林水産常任委員会 <input type="checkbox"/> 医療保健子ども福祉病院常任委員会 <input type="checkbox"/> 防災県土整備常任委員会 <input type="checkbox"/> 教育警察常任委員会
該当部局名	雇用経済
施策番号	施策8-2 多様で柔軟な働き方の推進
意見	<p>（課題の概要）「また、女性や高齢者、外国人等においては、正規雇用など安定した雇用関係を構築できるよう、安心して働き続けられる職場環境づくりが求められています。」</p> <p>【基本事業2：多様な人材の就労支援】就労に対する支援が必要な女性や高齢者、外国人、就職氷河期世代などが…」</p> <p>列挙されている女性や高齢者…はもちろん特にとのことだが、今や、現役世代の男性においても望まない非正規という現実があるが、この記述でよいか。</p> <p>非正規労働は社会問題になっているのだから「正規労働化」と明確に示すべき。</p> <p>また非正規労働の数の実態の見える化が必要。</p>
理由	<p>「多様で柔軟な働き方を選択」にカモフラージュされた望まない非正規労働の実数さえ把握できない現状では、対策も打てない。</p>